

防災かわら版

第2つつじが丘自主防災会



災害時の避難方法

「天災は忘れたころにやって来る」という言葉を聞いたことはありませんか？
物理学者として知られる「寺田虎彦」の警句です。起きてしまった災害を忘れることなく日々の備えをしようという意味です。最近の災害は地球規模で起きていて、何時身に降りかかるかもしれません。災害が起きたとき、どのような災害なのかを判断し、身の安全を図りましょう。

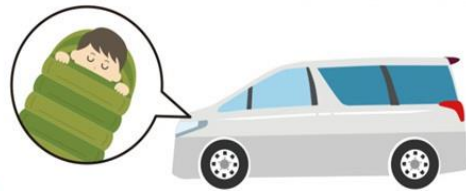
「防災うしく」で避難指示が出た場合、指定避難所に咄嗟に避難するのではなく、水害、土砂崩れ、家屋半壊、倒壊などをきちんと判断して、ご自宅に支障（被害）がない場合は「在宅避難」が一番安全です。食料・水などの備蓄もある筈です。また、どうしても心配でしたら、下記の分散避難をお勧めします。

分散避難「3密」を防ぐため避難所以外の場所に避難

① 自宅が安全な場合「在宅避難」



② 車などを利用した「青空避難」



③ 親戚や知人の家に身を寄せる「縁故避難」



④ 「ホテル避難」



出典：トヨタの防災

お問い合わせ 防災会 坂